

高岡市教育将来構想検討会議
第2回社会教育・生涯学習小委員会 議事録

・日 時 平成 30 年 7 月 11 日 17:30～

・場 所 高岡市役所 802 会議室

事務局：(資料 1 について説明)

委 員：二上まなび交流館の今後必要となる大規模修繕はどのようなものがあるのか。配管や屋上の防水などは改修しているのか。

事務局：エアコンの更新、壁面修繕、体育館の雨漏り等があり、費用は概算で約 7,000 万円になる。配管についても今後布設替えは必要になるものと考えている。平成 19 年度に県から移管される際に雨漏り等への大規模修繕は行っているが、新たに修繕が必要となる箇所が出てきている状況。

委 員：施設を続けることを前提に、どうしたら持続可能かということを議論すべき。そのため受益者負担を求めることは大事なことである。しかし、費用対効果ばかりではなく、利用対象となる青少年の活動の場を確保することを考えてほしい。他にはない社会教育施設である。
利用者の感覚としては、二上まなび交流館は「かたい」イメージである。施設の方針だと思うが、決まりごとや活動内容が多すぎる。子どもの利用が少ない時は大人への一般開放を検討してもいいのではないか。

委 員：二上まなび交流館の収支状況から、誰がどのように改善するとこの収支が成り立つのか、という検討をするのか、それともこの委員会で意見を取り出して、市からどこかに受け入れの検討を促すのか。

切り取った部分だけで施設を存続するか廃止するかという議論をしても関連的なものにしかないので、まずは続けるにはどうすればいいのかという検討から始めてもいいと思う。

例えば、利用料を 7 倍にして収入を確保すれば成り立つのか、ということをつたき台に、施設に見合った費用を検討して、あとは営業努力で収入を確保するなど。そのうえで、ボーイスカウト様に経営いただくことは可能かなど、検討を進めていけばどうか。

そのような様々な可能性を検討したうえで、施設の方向性が結論付けられていくのではないか。

委 員：このままでは費用の話にしかならず、社会教育というテーマに合わない。
損得抜きに青少年に施設を提供できるかということを考えていきたい。

事務局：現在市では、二上まなび交流館は採算がとれないため、廃止という方向で

議論が進んでいる。ぜひ皆様には採算をとるにはどうすればよいかという方向性で検討いただき、大事な施設であり、市の補填を抑えて運営する形があるという提言をいただければ、存続も可能かと考える。

しかし、今まで通り市の負担が必要という提言いただいても、教育委員会では受け取ることとはできないし、実現することもできない。

委員：二上まなび交流館の宿泊料金や日帰り 90 円の妥当性がわからない。委託料の内訳を教えてください。

事務局：警備委託に約 200 万円、清掃委託に約 300 万円、建物衛生管理に約 50 万円、電気保安管理に約 20 万円等、施設の管理に係るもの。そのほか、二上山キャンプ場の受付及び清掃委託に約 100 万円、警備委託に約 50 万円、草刈りや浄化槽の保守点検に約 100 万円となっている。ちなみにキャンプ場は利用料無料である。

委員：市として施設の存続には、費用を全額回収しなければならないのか、それとも半額でよいのか、これらについても協議の対象にしなければならない。他市ではどの程度の費用で運営しているのか比較することも必要。

事務局：今ほど他市の状況について意見があったことから、事務局で先日視察に伺った黒部市ふれあい交流館「あこや〜の」の状況について説明させていただく。(資料 2 について説明)

委員：黒部市の施設利用者が県移管前から倍増した理由は。

事務局：夏期の稼働率を上げるため、宿泊部屋の数を増やしたということ。そのほか施設の積極的な P R、地域の町内会の会合など貸館利用をしており、施設を柔軟に活用している。民間が指定管理者ということもあり、採算性を重視した運営を行っている。

委員：この委員会において指定管理者の切り替えなどを提言した場合、高岡市として反映することは可能か。

事務局：指定管理者である北陸バロン美装に意見を伺いたいと考えており、その結果をまた報告させていただきたい。

委員：利用料金は見直すべきと考える。収容人数を比較すると、職員数はもう少しシビアでもいいのではないかと考える。オートキャンプ場はとてもいい施設である。管理費が発生しているなか、料金をとらない理由がわからない。

委員：黒部市の指定管理料はいくらか。

事務局：約 3,200 万円。高岡市より約 1,000 万円安価である。

委員：黒部市の収支は黒字になっているのか。

事務局：実際に発生する費用から収入を差し引いたものを、指定管理料として支払っている。赤字をどのように捉えるかで異なるが、指定管理料が発生しているということは収入だけで賄うことはできないということである。

市として指定管理料をどの程度出すことができるかは言えないが、極力少なくできるような方向を目指していきたいと考えている。

委員：次回までに二上まなび交流館の宿泊者等の人数を教えてください。

事務局：本日の会議を踏まえて、意見等があればご連絡いただきたい。

また、今後のスケジュールについては改めて連絡させていただく。

以上